

第 52 回 トワイライトセミナー（対面+オンライン開催）

「機械安全と Well Being – 安全の先にあるもの」

開催日：2023 年 2 月 17 日（金）18:00 ~ 19:30

会場：長岡技術科学大学 東京サテライトキャンパス+オンライン（Zoom）開催

参加者数：36 名

はじめに

第 52 回トワイライトセミナーは、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いてきたことから、講演者と直接対話することができる会場での対面方式と、遠方からも参加可能なオンライン方式の両者を使ったハイブリッド形式で開催した。

内容

「ウェルビーイング（Well-Being）」^{*1}という言葉が、企業経営を中心に新聞や雑誌紙上でよく見かけるようになってきた。では「ウェルビーイング」とは、どのような考え方なのだろうか。

働く人の安全、健康、ウェルビーイングの向上を目指すことは、これまでの主として怪我をしない、病気をしない等のネガティブ（マイナス）の面（領域）に目を向けていた労働安全衛生活動を、明るく前向きに安心して仕事をするといったポジティブ（プラス）の面（領域）に向かわせることになり、働く人の幸せ、すなわち生きがい、やりがいに結び付く。

今回のセミナーでは、機械安全で守ろうとしている働く人々のウェルビーイング、労働安全衛生におけるウェルビーイングの位置づけについて解説いただいた。次に機械安全において、また今後の労働安全衛生面から、極めて重要な指針となるであろう「安全、健康、ウェルビーイング」について紹介いただいた。

「心」を対象にしてきた従来のウェルビーイングと、これまでの労働安全衛生で取り組んできた「安全と健康」を融合し、さらに発展させた「広義のウェルビーイング」を目指すことは、機械安全を考えていくうえでも、これからの労働安全衛生の新たな目標となる重要な活動と言え、その道筋を考えていくきっかけとなった。

また、安全に対する向き合い方として、これまで負の領域（マイナス）からゼロにしていくという考え方から、より付加価値の高いプラスの領域に持って行くという考えを取り入れていくことにより、機械安全設計者自身にとっても、より前向きな姿勢で設計に取り組むことができると確信できた。

講座終了後の質疑応答の時間では、会場にいらした参加者から多くの質問と意見交換がなされ、向殿先生にはこれらの質問、意見に対し細かく丁寧にご対応いただいた。参加者にとって非常に有意義な講座であった。



(写真) 長岡技術科学大学東京サテライトキャンパス会場でのセミナーの様子

(注記)

*1:「良い状態で存在する・生きること」, すなわち幸福で肉体的, 精神的, 社会的すべてにおいて良好な状態にあること.